

特殊報

奈病防第11号
平成29年9月8日
奈良県病虫害防除所長

平成29年度病虫害発生予察特殊報 第1号

1. 病虫害名 ミナミアオカメムシ

学名 *Nezara viridula* (Linnaeus)

2. 対象作物 水稻、大豆、果菜類、果樹類

3. 特殊報の内容 本県における初被害を確認

4. 発生地域 奈良県中和地域

5. 発生確認の経緯

- (1) 奈良県桜井市の農業研究開発センター内の誘蛾灯において、平成29年7月以降、わずかな個体数であるが断続的に誘殺を確認しました。
- (2) 平成29年8月8日に奈良県中和地域の露地ナスほ場においてカメムシ類による果実の吸汁被害が発生し、本種と疑われる成虫が採集されました。神戸植物防疫所の同定を依頼したところ、ミナミアオカメムシ *Nezara viridula* (Linnaeus) と同定されました。

6. 国内での発生状況

- (1) 本種は西日本から南関東にかけて広く分布し、近畿地方では奈良県を除く各府県で発生が確認されています。

7. 本種の特徴と被害状況

- (1) 成虫の体長は12~16mmで、体色は一般に光沢の少ない緑色ですが(写真1:左)、体色には遺伝的な変異があります。
- (2) アオクサカメムシとの見分け方は、前翅をめくった下の腹部背面が緑色であること(アオクサカメムシでは黒色:写真2)、前胸背板角の突出がアオクサカメムシより小さい(写真3)、触覚第3~5節において、各節の先端半分が褐色であること(アオクサカメムシでは黒色:写真4)、体がアオクサカメムシより縦長であること(写真1)です。
- (3) 本種は広食性で、イネ、大豆、果菜類、果樹類などを加害します。水稻では斑点米を発生させるほか、大豆では子実の吸汁による変形や変色、果菜類、果樹類では果実の吸汁による刺し傷を発生させます。

8. 防除対策

(1) 発生を確認した場合は、各作物においてカメムシ類に登録のある殺虫剤を散布します。



写真1. 全体
ミナミアオカメムシ（左）の方が
アオクサカメムシ（右）より縦長

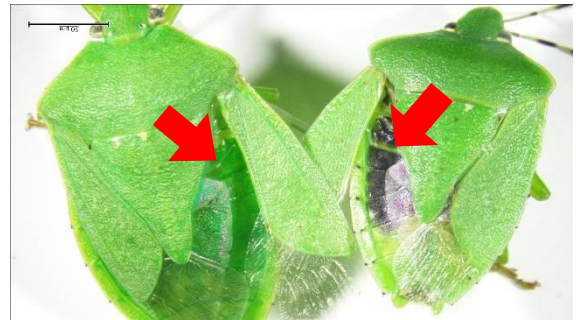


写真2. 前翅の下の腹部背面
ミナミアオカメムシ（左）は緑色だが
アオクサカメムシ（右）は黒色



写真3. 前胸背板角の突出
ミナミアオカメムシ（右）の方が
アオクサカメムシ（左）より突出
が小さい

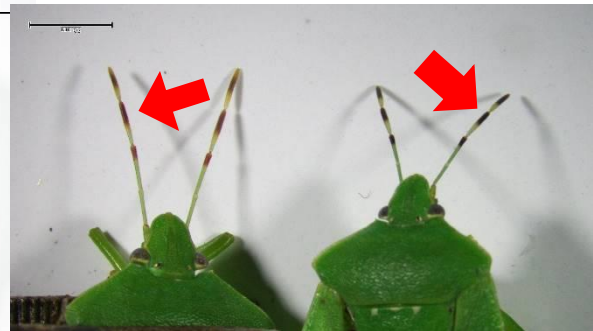


写真4. 触覚第3～5節の色
ミナミアオカメムシ（左）は先端半分
が褐色だが、アオクサカメムシ（右）は
黒色

●お問い合わせは

奈良県病害虫防除所 TEL. 0744-47-4481

●その他の情報

病害虫防除所ホームページ <http://www.jpnp.nara.jp/nara/>

奈良県農業情報システム（農作物病害虫・雑草防除指導指針）

<http://www.nouyaku-sys.com/nyaku/user/top/nara>